

地区委員会だより

平成28年3月
発行責任者
中溝 孝夫

地域とともに

会長 中溝 孝夫

「我々は微力ではあるが、無力ではない」これは、ある高校生の発言ですが、昨年雑誌の記事を読んで今も心に残るものです。

よく質問されるのは「青少年健全育成地区委員会（以下地区委員会）で何してるの？」と聞かれます。そこで改めてお話しします。



地区委員会は、町田市の外部団体として、活動費の助成を受けて、健全な青少年を育てるために、青少年関係機関、団体等の連絡調整をして、種々の活動をする団体です。

歴史として、町田市では、昭和三三年に、旧町村ごとの五地区で設置され、昭和四五年には、鶴川地区は三つに分かれ、鶴川第一地区委員会が発足し、現在は町田市に二四地区委員会があります。

鶴川第一地区委員会は、地域として、小野路、野津田、大蔵、金井の各町を担当しています。学校区ですと、鶴川中学校、金井中学校、鶴川第一小学校、大蔵小学校、金井小学校の範囲になります。

地区委員会の構成団体として、前記の学校に加えて、野津田高校、地区の幼稚園、保育園、各保護者会、町内会・自治会、民生児童委員、保護司、地域協力者が参加して委員会を作り、活動をしています。

隔月、年六回の会議を開催して、情報の交換、発信などを行っています。市内の各地区委員会は、地域の特色、文化伝統などにより、それぞれ独自の活動をしています。

鶴川第一地区委員会では、「文化の伝承」「三世代ふれあい交流」という、発足当時からスローガンがあります。その主旨のもと、鶴川で昔から伝わる「手づくりうどん作り」、「しめ飾り作り」を毎年各小学校で開催しています。昨年よりは、以前より行っていた「唱と遊びの会」から「あそびんピック」という、体を使い、学年や学校を越えた、子供たちの交流を助ける活動も開催しています。

子どもを育てるには、家庭、学校、地域と言われています。

私も大人になって、地域の人々に見守られ育ったのだと気づき、微力ではありますが、小さな恩返しと思い、委員会の活動をしています。地区委員会も、青少年の健やかな成長に、微力ではありますが、活動を続けます。今後とも、地区委員会に、ご理解とご協力を心より願います。

最後に、神奈川県のある地区委員会

の標語を紹介します。

「地域の中に家庭あり、
家庭の中に地域あり」



富樫幹事が退任

長年にわたり、歌と遊び、紙芝居作成、鶴川音頭の復活などに卓越した指導をされた富樫俊江先生は、当年度初めに、退任されました。

遅くなりましたが、ここに、その功績を讃え、お知らせします。



